

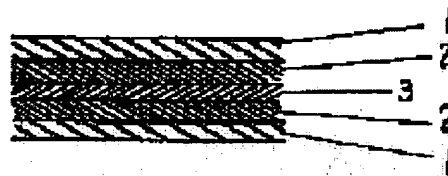
REMOVABLE STRONG ADHESIVE DOUBLE COATED SEAL

Patent number: JP8188755
Publication date: 1996-07-23
Inventor: HAYASHI SHINICHIRO
Applicant: RABITSUTO KK
Classification:
- international: C09J7/02; C09J7/02; C09J7/02; C09J7/02; C09J7/02;
C09J7/02; C09J7/02
- european:
Application number: JP19950031309 19950110
Priority number(s):

Abstract of JP8188755

PURPOSE: To provide a removable strong adhesive double coated seal having high convenience and inexpensiveness, capable of readily fitting, removing onto a smooth face such as glass face, a wood material wall (containing decorated wall) or a refrigerator.

CONSTITUTION: This removable strong adhesive double coated seal is composed of removable adhesive layers (1) comprising an urethane-based special elastomer, etc., on both faces of a substrate (3) comprising a polyester-based raw material through each strong adhesive layer (2) comprising an acrylic-based raw material. A strong adhesive is gradually exuded in a small amount from a strong adhesive layer (2) comprising an acrylic-based raw material on both faces through the removable adhesive layers (1). So, in the adhesive force is weakened, the seal is lightly washed and water is wiped out to regain the first adhesiveness, then, the process is repeated and the seal is able to be repeatedly used.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-188755

(43) 公開日 平成8年(1996)7月23日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
C 0 9 J 7/02	J K P J H R J J P J J W J J Z			

審査請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 5 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平7-31309

(22) 出願日 平成7年(1995)1月10日

(71) 出願人 591274200

ラビット株式会社

大阪府大阪市北区梅田1丁目2番2-1100
号 大阪駅前第2ビル11F-19号

(72) 発明者 林 真一郎

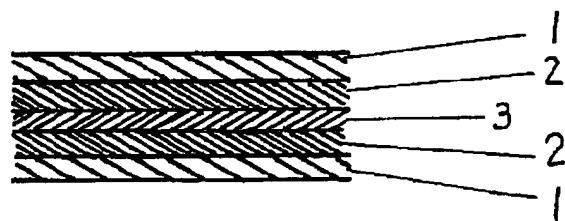
大阪府大阪市北区梅田1丁目2-2-1100
号大阪駅前第二ビル11階19号 ラビット株
式会社内

(54) 【発明の名称】 再剥離可能な強力両面粘着シール

(57) 【要約】

【目的】 ガラス面などの平滑面や木材壁（化粧壁含む）や冷蔵庫の表面（金属の化粧板）等に簡単に取り付け・取り外しが出来る便利性の高い再剥離可能な強力両面粘着シールを安価に提供せんとするものである。

【構成】 この再剥離可能な強力両面粘着シール（A）は、ポリエステル系素材なる基材（3）の両面にアクリル系素材よりなる強粘着層（2）を介してウレタン系特殊エラストマー等なる再剥離粘着層（1）を設けているので、両面のアクリル系素材よりなる強粘着層（2）から、強粘着剤がウレタン系特殊エラストマー等なる再剥離粘着層（1）を介して徐々に微量吐出されるので、粘着力が弱くなれば軽く水洗いをした後、水分を拭き取るだけで元の粘着力に戻るため、粘着力が弱くなれば、その都度前記と同様に繰り返して往復使用できるものである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】繰り返して貼着使用出来るシールに於いて、その構造がウレタン系特殊エラストマー等である再剥離粘着層（1）とアクリル系素材よりなる強粘着層（2）とポリエステル系素材からなる基材（3）とアクリル系素材よりなる強粘着層（2）とウレタン系特殊エラストマー等である再剥離粘着層（1）を重合して一体のシート状に形成し、任意の形状に裁断して構成されたことを特徴とする再剥離可能な強力両面粘着シール。

【請求項2】繰り返して貼着使用出来るシールに於いて、その構造がウレタン系特殊エラストマー等である再剥離粘着層（1）とポリエステル系素材からなる基材（3）とウレタン系特殊エラストマー等である再剥離粘着層（1）を重合して一体のシート状に形成し、任意の形状に裁断して構成されたことを特徴とする再剥離可能な強力両面粘着シール。

【請求項3】繰り返して貼着使用出来るシールに於いて、その構造がポリエステル系素材からなる基材（3）の片面にアクリル系素材よりなる強粘着層（2）を介してウレタン系特殊エラストマー等である再剥離粘着層（1）を設けた面と、もう一つの面にウレタン系特殊エラストマー等である再剥離粘着層（1）を重合して一体のシート状に形成し、任意の形状に裁断して構成されたことを特徴とする再剥離可能な強力両面粘着シール。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、再剥離可能な強力両面粘着シールの改良に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より、ガラス面や壁などにカレンダーやポスター等を貼り付ける際、色々な貼り付け方法がある。例えば、ガラス面などの平滑面に透明のセロテープやガムテープ・両面粘着テープなどで該カレンダーやポスター等の四隅を止めたり、木材壁の場合には該カレンダーやポスター等を押しピンで数箇所を止めたりすることがある。又、冷蔵庫の表面にメモ用紙や伝票、カレンダー、回覧用紙などをマグネット（磁石）で引っかけて、取り外し自在にしているが次のような問題点があった。

【0003】ガラス面などの平滑面にカレンダーやポスターを貼り付ける時にセロテープやガムテープ・両面粘着テープなどで四隅を止めたりするが、貼り付けを失敗して貼りなおす時に、そのセロテープやガムテープ・両面粘着テープなどの粘着力が強く、大切なカレンダーやポスターを破ったりする場合があった。又、カレンダーやポスターを剥がした時に粘着剤がガラス面に残り、汚くなり、見栄えの良いものではなかった。

【0004】木材壁の場合、該カレンダーやポスター等を押しピンで数箇所を止めたりすることがあるが、該カレンダーやポスター等を木材壁から外した時に、数箇所

の押しピンの穴が残り、あまり見栄えの良いものではなかった。又、化粧壁などの場合には、直接、傷をつけることが出来ず、数箇所の押しピンの穴を明けては困るものがあり、セロテープやガムテープ・両面粘着テープ等で貼り付けたりするが、前記したように化粧壁などから剥がした時に粘着剤が該化粧壁に残り、汚くなり、見栄えの良いものではなかった。

【0005】冷蔵庫の横面にメモ用紙や伝票、カレンダー、回覧用紙などをマグネット（磁石）で引っかけて、いつでも取り外し自在にしている状態は良いが、冷蔵庫の表面が金属の化粧板で出来ているので傷が入りやすく、又、磁力が弱いため、引っ付けたものが下に落ちたりすることがあり、あまり良い取り付け方法ではなかった。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】本案は、このような問題点を鑑みて発明したもので、前記したガラス面などの平滑面や木材壁（化粧壁含む）や冷蔵庫の表面（金属の化粧板）等に簡単に取り付け・取り外しが出来る便利性の高い再剥離可能な強力両面粘着シールを安価に提供せんとするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成させるために、請求項1では、繰り返して貼着使用出来るシールに於いて、その構造がウレタン系特殊エラストマー等である再剥離粘着層（1）とアクリル系素材よりなる強粘着層（2）とポリエステル系素材からなる基材（3）とアクリル系素材よりなる強粘着層（2）とウレタン系特殊エラストマー等である再剥離粘着層（1）を重合して一体のシート状に形成し、任意の形状に裁断して構成された再剥離可能な強力両面粘着シール（A）とした。

【0008】請求項2では、繰り返して貼着使用出来るシールに於いて、その構造がウレタン系特殊エラストマー等である再剥離粘着層（1）とポリエステル系素材からなる基材（3）とウレタン系特殊エラストマー等である再剥離粘着層（1）を重合して一体のシート状に形成し、任意の形状に裁断して構成されたことを特徴とする再剥離可能な強力両面粘着シールとした。

【0009】請求項3では、繰り返して貼着使用出来るシールに於いて、その構造がポリエステル系素材からなる基材（3）の片面にアクリル系素材よりなる強粘着層（2）を介してウレタン系特殊エラストマー等である再剥離粘着層（1）を設けた面と、もう一つの面にウレタン系特殊エラストマー等である再剥離粘着層（1）を重合して一体のシート状に形成し、任意の形状に裁断して構成されたことを特徴とする再剥離可能な強力両面粘着シールとした。

【0010】

【作用】本案を使用する時には、予め、該カレンダー（5）やポスター（6）の四隅に再剥離可能な強力両面

3

粘着シール(A)を貼り付けて、ガラス面(4)などの平滑面(4a)に挟むように押さえつけ貼着するもので、該カレンダー(5)やポスター(6)とガラス面(4)などの平滑面(4a)に接する部分は、再剥離可能な強力両面粘着シール(A)の両面のウレタン系特殊エラストマー等でなる再剥離粘着層(1)の粘着力で貼着されるものである。

【0011】特に、この再剥離可能な強力両面粘着シール(A)は、ポリエステル系素材からなる基材(3)の両面にアクリル系素材よりなる強粘着層(2)を介してウレタン系特殊エラストマー等でなる再剥離粘着層(1)を設けているので、両面のアクリル系素材よりなる強粘着層(2)から、強粘着剤がウレタン系特殊エラストマー等でなる再剥離粘着層(1)を介して徐々に微量吐出されるので、粘着力が弱くなれば軽く水洗いした後、水分を拭き取るだけで元の粘着力に戻るので粘着力が弱くなれば、その都度前記と同様に繰り返して往復使用すれば良い。

【0012】更に、この再剥離可能な強力両面粘着シール(A)の厚みは、多層構造でありながら1ミリ以上あるので、取り付け・取り外しの作業性も効率良く好都合である。

【0013】再剥離可能な強力両面粘着シール(A)の表面がウレタン系特殊エラストマー等でなる再剥離粘着層(1)であるので、クッション材にもなり、木材壁や化粧壁などに押しピン穴を明けるような外傷を与えることがなく、安心して使用することができる。

【0014】カレンダー(5)やポスター(6)等をガラス面(4)や木材壁(7)、化粧壁(8)などから剥がした時に、粘着剤が相手側に残ることがなく、いつも清潔感があり奇麗である。

【0015】冷蔵庫(9)の横面にメモ用紙(10)や伝票(11)、カレンダー(5)、回覧用紙(12)などを再剥離可能な強力両面粘着シール(A)で貼着するだけで、傷の心配もなく、又、強力な粘着力があるため、貼着したものが落下することが少ない。

【実施例】

【0016】本発明の実施例を図面にに基づき説明すれば、第1図は本案の再剥離可能な強力両面粘着シール(A)の断面図であり、ウレタン系特殊エラストマー等でなる再剥離粘着層(1)とアクリル系素材よりなる強粘着層(2)とポリエステル系素材からなる基材(3)とアクリル系素材よりなる強粘着層(2)とウレタン系特殊エラストマー等でなる再剥離粘着層(1)を重ねて一体のシート状に形成した再剥離可能な強力両面粘着シールを示すものである。

【0017】第2図は、ウレタン系特殊エラストマー等でなる再剥離粘着層(1)とポリエステル系素材からなる基材(3)とウレタン系特殊エラストマー等でなる再剥離粘着層(1)を重ねて一体のシート状に形成した

4

再剥離可能な強力両面粘着シールを示すものである。

【0018】第3図は、任意の形状に裁断された再剥離可能な強力両面粘着シール(A)を示すもので、どのような形状や色であっても良い。

【0019】第4図は、ポスター(6)を化粧壁(8)に貼り付ける状態を示すもので、予め、該ポスター(6)の適当な位置又は、化粧壁(8)の該ポスター(6)の貼る位置に再剥離可能な強力両面粘着シール(A)を貼り付けて、貼着するものである。

【0020】第5図は、ガラス面(4)などの平滑面(4a)に挟むように押さえつけ貼着した状態を示すもので、ガラス面(4)などの平滑面(4a)に接する部分は、再剥離可能な強力両面粘着シール(A)の両面のウレタン系特殊エラストマー等でなる再剥離粘着層(1)の粘着力で貼着されるもので、貼り付ける位置を間違えても、簡単に再剥離可能な強力両面粘着シール(A)を剥がして付け替えることができる。

【0021】第6図は、化粧壁(8)にカレンダー(5)を貼り付けた状態を示すもので、例えば、日めくりカレンダーや月めくりカレンダーの場合には、再剥離可能な強力両面粘着シール(A)の枚数を増やして適当な箇所に貼り付け、ずり落ちたりしないようにすれば良い。

【0022】第7図は、冷蔵庫(9)の横面にメモ用紙(10)や伝票(11)、カレンダー(5)、回覧用紙(12)などを再剥離可能な強力両面粘着シール(A)で貼着した状態を示したものである。

【0023】

【発明の効果】本発明は、以上のように構成されているので、下記の如く多大の効果を奏するものである。

【0024】粘着力が弱くなれば軽く水洗いした後、水分を拭き取るだけで元の粘着力に戻るので繰り返して往復使用することができる。

【0025】多層構造でありながら1ミリ以上の厚みにしているので、取り付け・取り外しが簡単にできる。

【0026】再剥離可能な強力両面粘着シール(A)の表面がウレタン系特殊エラストマー等でなる再剥離粘着層(1)であるので、クッション材にもなり、木材壁や化粧壁などに押しピン穴を明けるような外傷を与えることがなく、安心して使用することができる。

【0027】カレンダー(5)やポスター(6)等をガラス面(4)や木材壁(7)、化粧壁(8)などから剥がした時に、粘着剤が相手側に残ることがなく、いつも清潔感があり奇麗である。

【0028】冷蔵庫(9)の横面や木材壁(7)、化粧壁(8)などの装飾面に傷を入れることがなく、又、強力な粘着力があるため、貼着したものが落下することが少ない。

【0029】簡単な構造で、色々な分野で使用出来ると共に、安価に提供することができる。

5

6

【図面の簡単な説明】

【図1】 本案の再剥離可能な強力両面粘着シールの断面図を示す。

【図2】 図1以外の再剥離可能な強力両面粘着シールの断面図を示す。

【図3】 再剥離可能な強力両面粘着シールの色々な形状例を示す斜視図。

【図4】 化粧壁にポスターを貼り付ける状態を示す斜視図。

【図5】 ガラス面にカレンダーを貼り付けた状態を示す側面図。

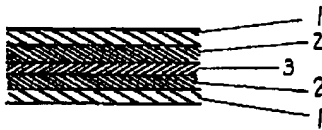
【図6】 化粧壁にカレンダーを貼り付けた状態を示す正面図。

【図7】 冷蔵庫の横面にメモ用紙や伝票、カレンダー、回覧用紙を貼着した状態を示す斜視図

【符号の説明】

- | | |
|-----|---------------------|
| A | 再剥離可能な強力両面粘着シール |
| 1 | ウレタン系特殊エラストマー等なる再剥離 |
| 粘着層 | |
| 2 | アクリル系素材よりなる強粘着層 |
| 3 | ポリエステル系素材からなる基材 |
| 4 | ガラス面 |
| 4a | 平滑面 |
| 5 | カレンダー |
| 6 | ポスター |
| 7 | 木材壁 |
| 8 | 化粧壁 |
| 9 | 冷蔵庫 |
| 10 | メモ用紙 |
| 11 | 伝票 |
| 12 | 回覧用紙 |

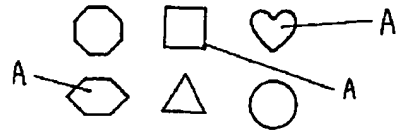
【図1】



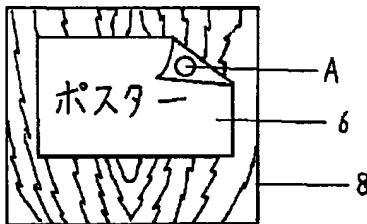
【図2】



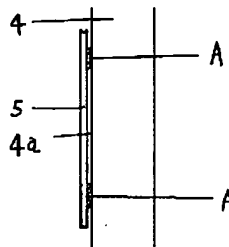
【図3】



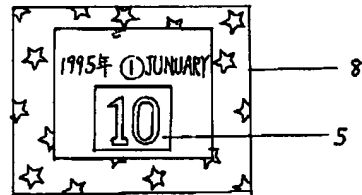
【図4】



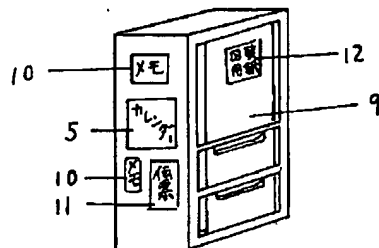
【図5】



【図6】



【図7】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁶

C 0 9 J 7/02

識別記号

J K F

J L E

庁内整理番号

F I

技術表示箇所